

取扱説明書

保管用



白熱灯シーリング (天井付け)

ご使用になれる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれています。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	適合電球
LE-3770	E17 PSクリプトン電球60W以下×4灯
LE-3771	E17 PSクリプトン電球60W以下×6灯
LE-3772	E17 PSクリプトン電球60W以下×8灯

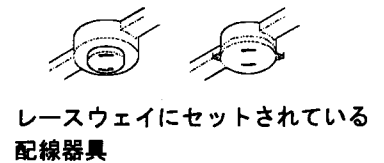
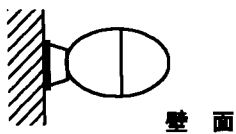
この取扱説明書のマークについて

- ⚠ **警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ **注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❶ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- ❷ このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け 取り扱い上の注意

⚠ 警告

- ❶ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。
- ❷ 次のような場所には取付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。

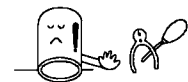


- 補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
- 石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
- 樹脂製ボックスカバーへの取り付け（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）
- 凸凹のある面には取付けないでください。
- サウナへの使用
- ★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

- ❸ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

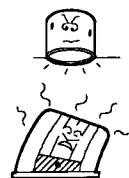


- ❹ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。



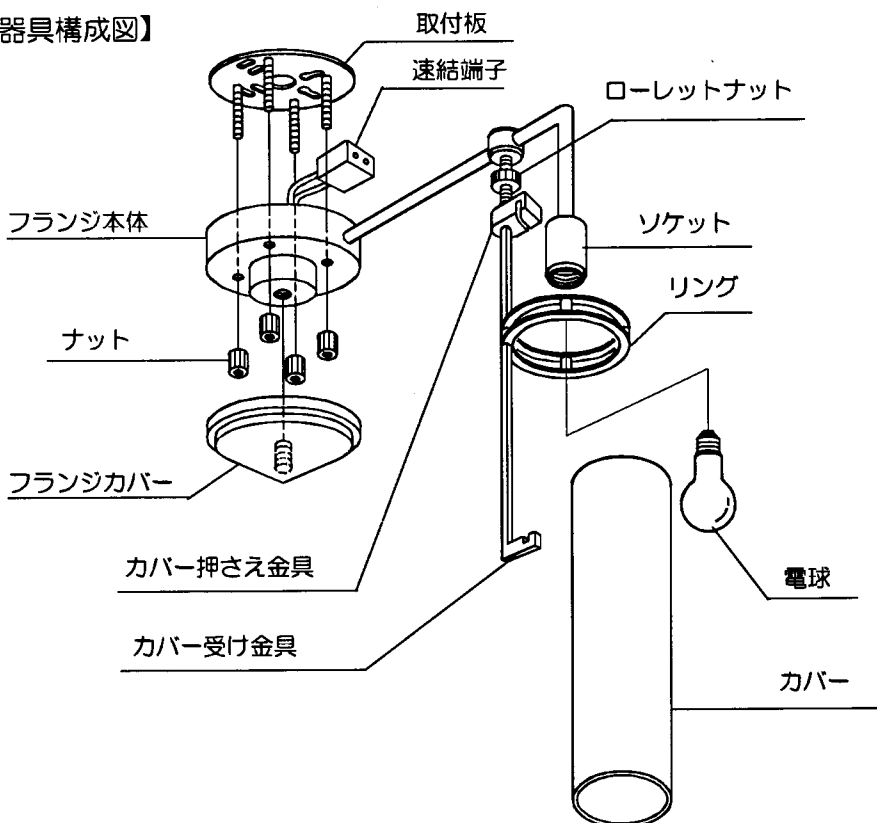
⚠ 注

- ❶ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
- ❷ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- ❸ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。
- ❹ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。
- ❺ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

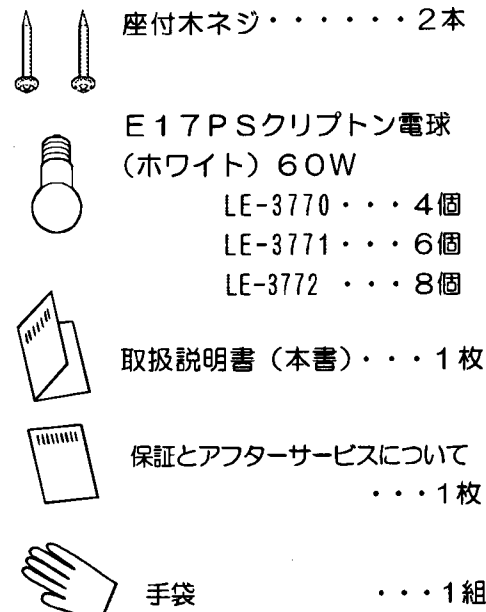


各部の名称 (説明図は、一部を省略抽象化した図です。) (不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください)

【器具構成図】



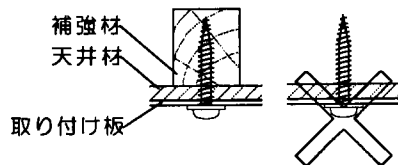
【付属品】



取り付け場所の確認

警告 取り付け金具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがあります。
 そのような場合には器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



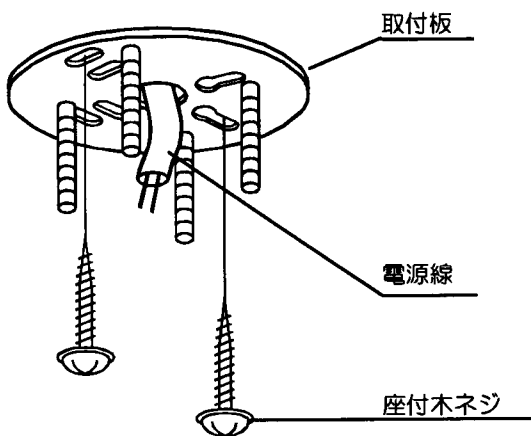
取り付け方 **注意** 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

注意 カバーは、ガラス製ですので取り扱いには十分にご注意ください。
★ガラス割れ等の事故や「けが」の原因となります。

1. ナットをゆるめて取付板をはずします。

2. 取付板をセットします。



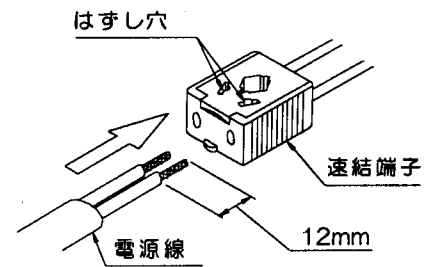
- ① 電源線を取付板の電源孔に通します。
- ② 付属の座付木ネジで取付板を固定します。

3. 電源線を接続します。

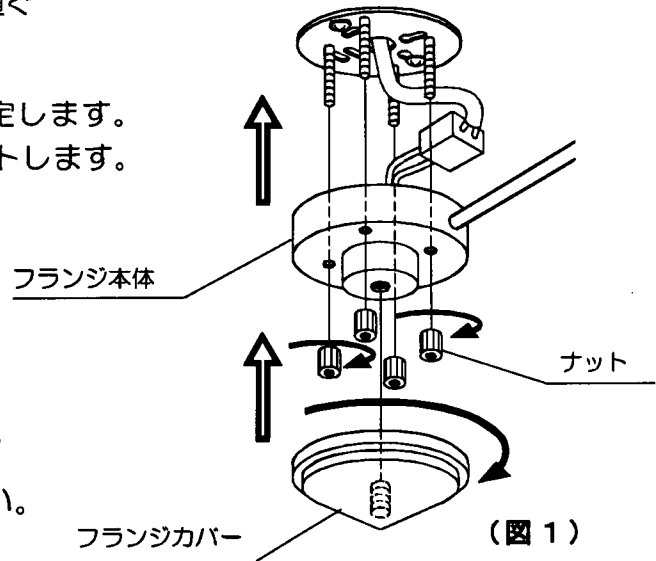
⚠ 警告 ① 端子に差し込むケーブルは、必ずVVFΦ1.6
またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線
を使用してください。

★指定以外のケーブルや曲った芯線、
汚れた芯線の使用は、接触不良による
火災や感電事故の原因となります。

- ① 電源線を速結端子のゲージ(12mm)に合わせて
剥きます。
 - ② 電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
- ※ 電源線をはずす場合は、幅6mmの
マイナスドライバーをはずし穴へ真っ直ぐ
差し込むとはずれません。



4. フランジ本体を取付板にかぶせてナットで固定します。
5. フランジカバーを回してフランジ本体にセットします。
(図1)



6. 電球をソケットにセットします。

⚠ 注意 ① 電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。

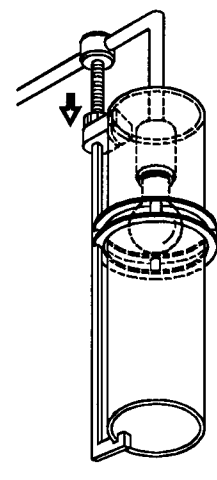
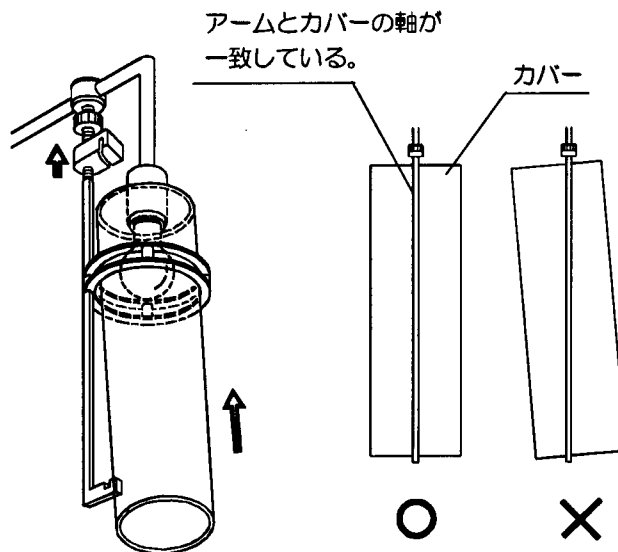
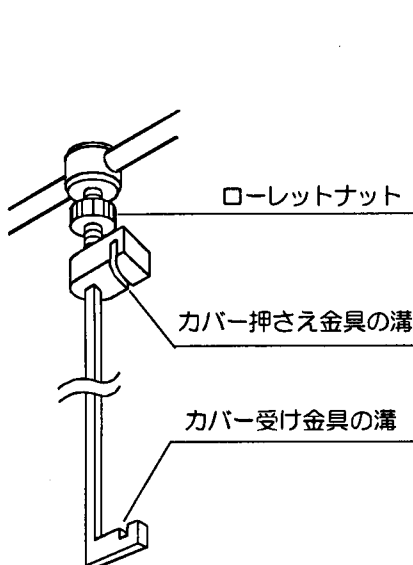
7. カバーを取りつけます。手袋をはめてください。

●カバーの取付方

- ① ローレットナットを緩めます。
- ② カバーをリング下から差し入れてカバー受け金具下の
溝にセットします。(図2)
- ③ カバー押さえ金具の溝をカバーにセットします。
その際アームとカバーの軸が一致するように
取り付けてください。(図3)
- ④ ローレットナットを締め付けてカバーを固定します。(図4)

⚠ 注意

●カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合
には、ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの落下事故の原因となります。



(図2)

(図3)

(図4)

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。



お手入れについて

⚠ 注意

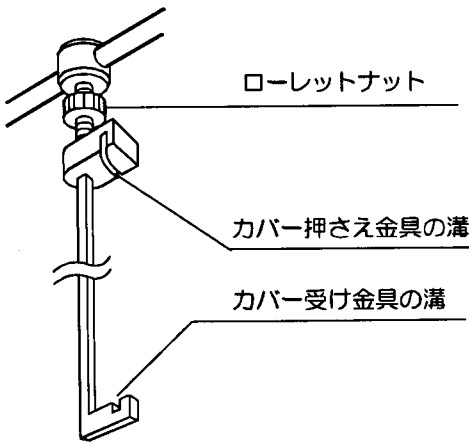
必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります

- こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

- ❗ ●電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。
- 🚫 ●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- 🚫 ●電球は乱暴に扱わないでください。★電球が割れてけがをする恐れがあります。
●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常加熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をついたり変色や変質の原因となります。

◆電球の交換



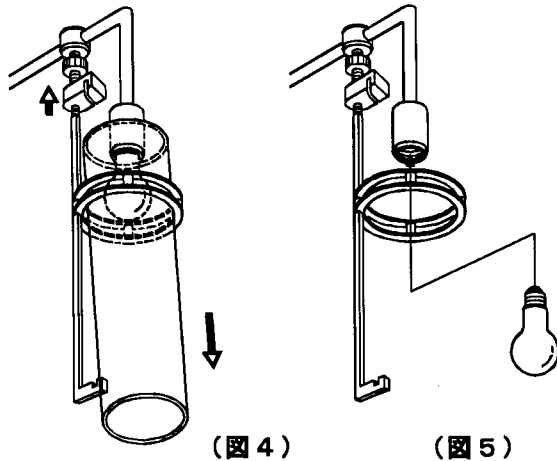
1. スイッチを切ります。
2. カバーをはずします。

●カバーのはずし方

- ①カバーを手で支えながらローレットナットを緩めてカバー押さえ金具を上へずらして溝からはずします。
- ②カバーをカバー受け金具の溝からはずして、リングから抜き取ります。(図4)

3. 電球を交換します。(図5)

⚠ 注意 ●電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れなどの事故の原因となります。



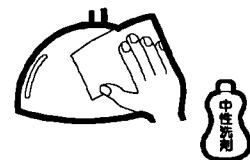
4. カバーを取りつけます。

●カバーの取付方の項目をご参照ください。

⚠ 注意 ●カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの落下事故の原因となります。

◆お手入れのしかた

- ①スイッチを切ります。
- ②柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
- ③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
- ④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。